

# 生路コース 4.2km



## ① 伊久智神社

祭神は木花開耶姫命、塩土老翁と伝えられています。社伝に塩土老翁が製塩を伝えたとあり、安産の神としても知られています。また、伊久智神楽も町指定文化財となっています。



## ② 大楠の森

伊久智神社社殿の北側一帯に広がる社叢。目通り4.7m、3.8m、3.5mなどの樹齢数百年を数える楠の大木が並び、町内で最大の巨樹です。また、町指定文化財で「町の木」を楠とした由縁でもあります。



## ③ 神後院

育川守養を開山として創建と伝えられています。昭和17年に神後庵を神後院と改称。享保の頃に白砂糖を製造した原田喜左衛門の墓や書道家原田鳴石の銅像があります。



## ④ 観音寺

寛文3年(1663年)に生路村中として観音堂を創建。知多四国10番札所でもあります。常照寺と神後院が交代で管理をしています。



## ⑤ 常照寺

享禄元年(1528年)に惟信忠公を開山として創建として伝えられていますが、すでに文明9年(1477年)に乾坤院授戒会記録に名が見られます。また、延徳3年(1491年)に古書「梅花無尽蔵」に「生道村常照庵葉樹の詩」が詠まれています。